

有明夏夫

福井県ふるさと文学館
新収蔵品展

橘曙覧

平成29年4月29日(土)~6月25日(日)

観覧
無料

開館時間

火~金曜日：9時~19時
土・日・祝日：9時~18時

休館日

月曜日、第4木曜日

主催

福井県ふるさと文学館



福井県 FUKUI MUSEUM OF LITERATURE
ふるさと文学館

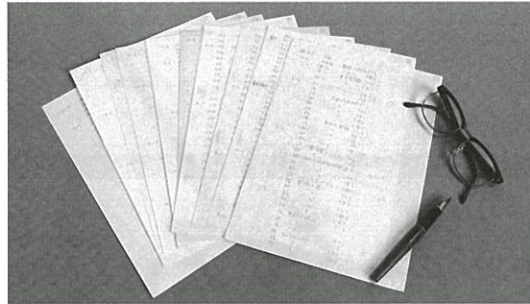
開館二周年を迎えた福井県ふるさと文学館は、これまで皆様から多くの資料をご寄贈いただきました。今回は、昨年寄贈された資料を中心とする当館収蔵品展を開催します。直木賞作家有明夏夫の遺作原稿や復元書斎、橘曙覧自筆屏風などを紹介します。

この機会に、福井ゆかりの文学をさらに知っていただくとともに、ふるさとの文学に関する資料の散逸を防ぎ、貴重な文化遺産を後世に継承していく文学館の活動に理解を深めていただきたいと思います。



有明夏夫 1936～2002

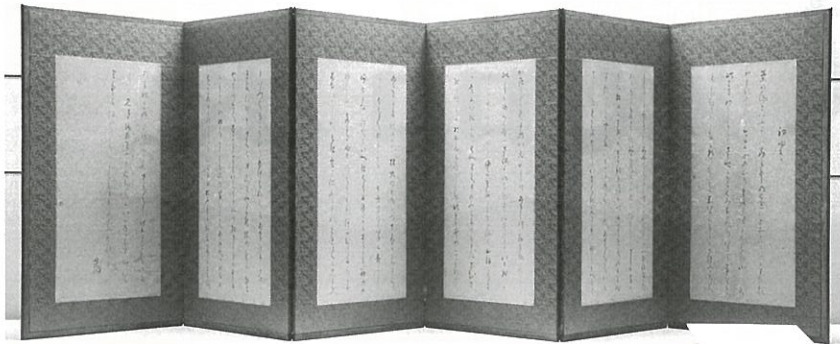
8才の時に戦災で福井県に疎開。麻生津小、足羽中、勝山精華高を卒業。明治初期の庶民を描いた『大浪花諸人往来』で直木賞受賞。幕末の大野藩が舞台の『幕末早春賦』や、福井市の高校生の生活を描いた『俺たちの行進曲』などの著作がある。



有明夏夫自筆メモ 万年筆 眼鏡



有明夏夫直木賞正賞



橘曙覧屏風「初ゆき」



提供：福井市立郷土歴史博物館

山川登美子 ちまちま人形に会いに行こう！

粘土でつくられた高さ10cmの登美子人形。ミニチュア人形の周囲のトランクや筆筒の中までも再現しています。



制作：高山美香氏

橘曙覧 1812～1868

若くして国学を志し、28歳の頃足羽山に隠棲する。「たのしみは」で始まり「とき」で終わる短歌「独楽吟」で生活の中の楽しみを詠み、生涯市井の文学者として暮らした。独楽吟のうちの一首が、1994年にクリントン大統領のスピーチで引用された。

福井県 FUKUI MUSEUM OF LITERATURE ふるさと文学館

〒918-8113 福井県福井市下馬町51-11
TEL: 0776-33-8866/FAX: 0776-33-8861
E-mail: bungakukan@pref.fukui.lg.jp
HP: <http://www.library-archives.pref.fukui.jp/>

- アクセス**
- フレンドリーバス(無料) ●JR福井駅東口バスターミナルから約15分
 - 路線バス ●JR福井駅西口交通広場5番のりばから市内バス(62系統・一乗谷東郷行き) 約12分
 - 自動車 ●北陸自動車道福井インターより約15分 国道8号線板垣交差点を東に折れ約900m

